

頑張る新規就農者応援事業

農林部

担当 農業支援課 新規参入支援担当

電話 048-830-4051

146,010千円(国費5,590千円含む)

現状と課題及び課題解決の方向性

1 将来像

- 県農業の維持発展に必要な担い手が確保されている。

2 現状と課題

- 明日の農業担い手育成塾推進事業では、露地野菜での入塾者が多いが、主穀・施設園芸・果樹は初期投資額が高いため、入塾者が少なく、新規就農者の確保につながっていない。
- 後継者がおらず経営移譲を希望する経営体が、現在把握しているだけでも18経営体ある(農林振興センター調べ)。その他の経営体についても把握し、しっかり支援していく必要がある。
- 女性が就農するにあたっては、女性の経営者の下で研修したい、最初は一人では不安との声や、女性用トイレや休憩スペースやトイレなどの設置を求める声が多い。

3 課題解決の方向性

- 明日の農業担い手育成塾に農業法人研修コースを新設し、農業法人等における研修環境の整備
- 第三者経営継承を担い手確保の新たな手段として位置付け、移譲希望者・継承希望者のマッチングを支援
- 女性が就職しやすいよう、農業法人の雇用環境の整備

事業内容及び事業スキーム

1 (一部新) 明日の農業担い手育成塾運営拡大事業 48,000千円

(1) (新) PR事業(6,000千円)

就農を検討している方々に、埼玉での就農を実現する方法として本事業をPR

(2) (既) 就農相談窓口整備事業(6,400千円)

就農相談窓口を設置し、相談会の開催・相談対応を行う。

(3) (一部新) 明日の農業担い手育成塾運営事業(35,600千円) 指導謝金、農地賃借料等を補助(補助率3/4以下)

ア(既) 【入門コース】指導農家の農地等を使用し、就農を目指す方の基礎的な研修。

イ(既) 【自立実践コース】指導農家の定期的な指導の下で、研修農地において生産から販売まで実践的な研修。

ウ(新) 【農業法人研修コース】農業法人の下で遊休施設等を使用し、独立就農に向け主穀、施設園芸、果樹の研修。



2 (新) 農業法人等による就農支援の環境整備事業 98,010千円

新規就農希望者が希望する就農形態(独立就農、経営継承、就職就農)で円滑に就農できるよう、農業法人等が行う就農研修や雇用に必要な環境整備を支援

- 研修用農地の整備支援(4,000千円) 【4.0ha×100千円/10a】

- 研修用農場の環境支援(機械の導入支援・農業施設の改修支援)(66,000千円) 【8法人・補助率3/4】

- 第三者経営継承の推進支援(10,010千円) 【研修費：定額補助 8件 施設改修：補助率1/2 650千円×3件 事務費】

- 女性が働きやすい環境の整備(トイレ、休憩施設、更衣室等)(18,000千円) 【補助率1/2 3,000千円×6法人】

事業から得られる成果(アウトプット及びアウトカム指標)

- 研修会参加人数・体験会参加人数各30人、就農相談対応件数 968件、明日の農業担い手育成塾研修生52名
- 移譲希望者と継承希望者とのマッチングの件数 8 件、経営継承の件数 3 件
- 女性の就職就農者 12人/6法人(事業実施4年後)